



☆ 診療体制変更のお知らせ ☆

6月より下記の通り診療体制が変更になります。

【外科】木曜日 夜診 坂之上医師 (1・3・5週)
野口医師 (2・4週)

→ 横山医師 (1週)
野口医師 (2・4週) ※変更無し
玉里医師 (3・5週)

☆ 熱中症のメカニズム ☆

熱中症は、気温が高いことなどで、身体の中の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体の調整機能が正常に働かなくなることによって引き起こされます。

人の身体は、常に熱を作り出す一方、汗をかいったり、皮膚から熱を逃がすことで、体温の上昇を抑えています。

このような体温の調節機能がうまく働かず、体内に熱がこもり、体温が異常に上昇することで熱中症は起こります。



《熱中症予防のために》

【こまめに水分を補給してください】

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。

【暑さを避けてください】

できるだけ風通しのよい日陰など、涼しい場所で過ごしましょう。

以下の症状にお気をつけください。

＜熱中症の症状＞ めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う

＜重傷になると＞ 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

【熱中症が疑われる人を見かけたら】

＜涼しい場所へ＞

風通しのよい日陰など、涼しい場所へ

＜からだを冷やす＞

衣服をゆるめ、からだを冷やす(首回り、脇の下、足の付け根など)

＜水分補給＞

水分・塩分、経口補水液などを補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合は、

すぐに救急車を！

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。少しでも体の不調を感じたら、対策を施して下さい。

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

- ・患者様に感動をしていただける医療を実践します
- ・患者様に選んでいただける病院づくりを実践し

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。

私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・医療を受ける権利
- ・知る権利
- ・自分で決定する権利
- ・プライバシーを守られる権利

医療法人 医修会 新河端病院

病院に対するご意見ご希望、また「ふれあい」へのご意見をお聞かせ下さい。(備え付けの意見箱をご利用下さい。)